

実践校に関する事項

学校区分	学校名	学校長名
中学校	由良町立由良中学校	吉村 元
学校所在地		
〒 6 4 9 - 1 1 1 3 和歌山県日高郡由良町阿戸 7 0 8 - 1 Tel 0 7 3 8 (6 5) 0 0 4 9 fax 0 7 3 8 (6 5) 0 9 7 8		
担当者名		役職名・担当教科
芝 拓実		教諭・社会
<p>〔学校の概要〕</p> <p>由良町は紀州路のほぼ中央部、日高郡の北端に位置し、東に白馬連峰を背負い、西は紀伊水道に面し、その先端には石灰岩の奇岩が点在する白崎海岸がある。校区内には、万葉集にも詠まれている風光明媚な白崎海岸県立自然公園や開山以来 7 0 0 年あまりの伝統を持つ興国寺、平安時代初期（8 6 0 年）に建立されたと伝えられている衣奈八幡神社があり、一年を通して県内外から訪れる多くの観光客でにぎわっている。</p> <p>深く入り込む由良湾は、古くから天然の良港といわれ、現在も台風時などには避難のため停泊する船舶も多い。本校は、この由良湾の最も入り込んだ地にあり、旧紀伊防備隊跡を利用した広大な校地をもつ。</p> <p>平成 2 1 年 4 月に町内 3 中学校（衣奈・白崎・由良港）が統合し、本年度開校 1 3 年目の歴史の浅い学校である。</p>		

研究実践に関する事項

対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 2 年生 3 9 名	6 名 職員 6 名	高野山
実践研究テーマ		
「地域を創る ～想いを受け止め、願いを受け継ぐ～」		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	「地域に生きる」	
<p>〔キーワード〕 高野山、伝統や文化、継承、世界遺産学習</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <p>①世界遺産の学習・体験を通して、伝統や文化を継承する意義についての理解を深める。</p> <p>②伝統や文化がさまざまな人々の努力によって守られていることに気づく。</p> <p>③学習の課題を設定し、探究的に課題を解決する素地をはぐくむ。</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 1 5 時間 （「地域に生きる」 1 5 時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山県世界遺産センターの職員の方に、世界遺産について講話していただいた。 世界遺産高野山を訪問し、和歌山県世界遺産センターの職員の方に案内していただいた。 		

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1 2	事前学習（本校） 高野山の現地学習エリアの中から、興味をもったものについて調べ、質問を考える。	実際に教員が事前に高野山へ下見に行き、そこで撮影した写真などを生徒に見せ、興味付けを行う。	ワークシート
3 4 5 6	世界遺産講座高野山での現地学習	世界遺産センターの職員のガイドのもと、熊野古道を歩き、熊野の自然や古の人々の思いを感じ取る。	観察
7 8 9 10 11 12	【まとめ】 壁新聞づくり パワーポイント作成	・写真などを使い、視覚的に分かりやすく、興味を引くことができる壁新聞にする。 ・世界遺産の良さ・魅力が伝わる壁新聞を作り、次世代に伝える意識を持たせる。 ・相手に伝わるよう、写真の配置やアニメーション等を工夫して作成する。	成果物
13 14	学年発表（パワーポイント）	・相手に伝わるよう、写真の配置やアニメーション等を工夫して作成する。	発表の観察 成果物
15	全校発表	・課題をとらえて修正し、全校の前ではきはきと発表させる。	発表の観察 成果物

〔単元学習の成果と課題〕

○成果

和歌山県に住んでいながら世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」については知らない生徒が多かったが、本学習を行うことで世界遺産について興味を持つ生徒が増えた。また、現地学習を行うことで、世界遺産についての知識を深められたとともに、世界遺産が長年の人々の努力によって後世に残され、自分たちも身近な故郷の伝統を後世に残していくことを考える素地を養うことができた。

○課題

現地学習のエリアが時間の関係で短かったこともあり、行けなかったエリアについての知識を深めることができなかった。今後は、時間等をもう一度検討する必要性を感じた。

〔世界遺産学習の効果〕

世界遺産については社会科の学習の中で取り扱ってはいるが、実際に生徒自らの足で高野山を歩くことで、世界遺産を身近なものとして認識することができた。また、和歌山にある世界遺産について興味を持つとともに、故郷の伝統や文化を見直す機会をもつこともできた。

事業実施後の社会科の授業でも、世界遺産を取り扱うときには、以前よりも興味・関心をもって授業に取り組むことができるようになったため、学習面においても効果があらわれたと感じている。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

学習時間や予算の関係から、本校独自で高野山を訪問することは難しい。また、世界遺産学習においては十分な事前指導を行ったほうがより現地学習の時間を有意義なものにできると感じた。

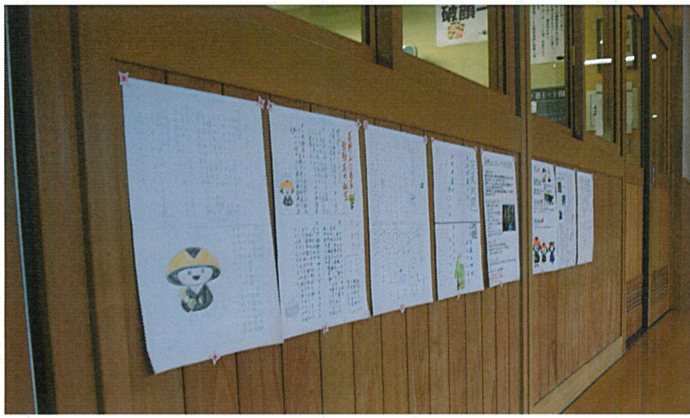
今後においても、今回の単元学習だけで世界遺産とのかかわりを終えるのではなく、今後のさまざまな学習に教科等横断的に波及していくよう学校全体として取り組んでいくことも大切である。このような学習を継続的に行い、和歌山県の世界遺産や文化財に興味を持たせ、世界遺産や文化財の保全や次世代に伝えていく実践意欲と態度を養っていきたい。

様式 2

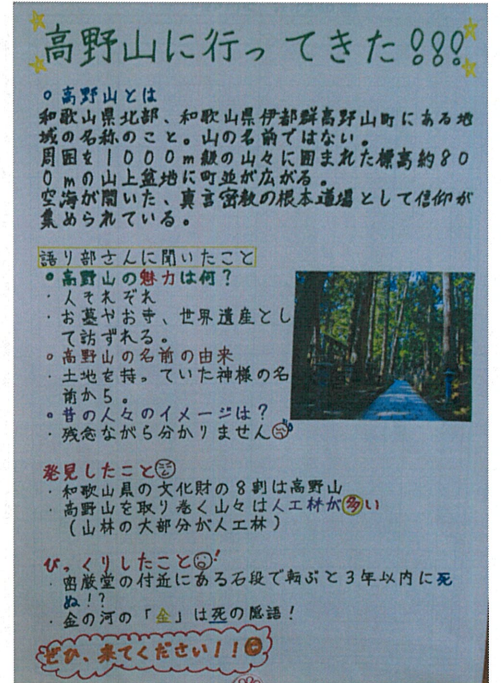
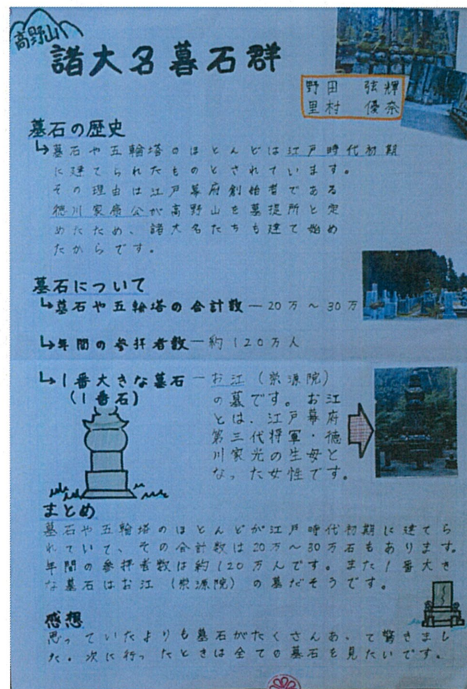
令和3年度 「次世代育成事業」における学習記録

〔概要報告書 学習記録・活動写真〕

廊下に壁新聞を掲示



掲示した壁新聞



クラス発表の様子 (11月)



クラスの代表者による学年発表の様子 (12月)



学年の代表者による全校発表 (1月)

